



防災に向けた町の部署の連携体制は？

町 長

地域防災計画で明確に定めています。

問 現実には災害が起きた際には、町のあらゆる部署の連携が必要です。

町の防災への取り組みの中で、各部署の連携体制について伺います。

答 毎年の年度初めに警報・注意報（津波）発表時の対応マニュアルを作成しています。

大規模災害発生時には、地域防災計画で各部署の対応を明確に定めています。



▲ 災害への備えは怠りなく！

災害発生時ばかりでなく、平時より部署間の連絡会議を定期的に関くなどして、災害時の被害を最小限に抑えるよう体制を作っていただきたい。



上関町で計画している中間貯蔵施設への対応は？

町 長

国と電気事業者の説明会の開催などを求めたい。

問 上関町で建設が検討されている、使用済核燃料の中間貯蔵施設への町長の受け止めは？

また、本計画への賛否、住民への説明や安心安全の確保は？

答 現在のところ情報が無いため、国と電気事業者の説明会を開いていただき、町民の皆さんに納得できる説明を尽くしてもらいたい。

また、柳井広域圏（柳井市、田布施町、平生町、周防大島町、上関町）での情報共有を図り、今後の推移を見守りながら判断したい。

判断にあたっては、パブリックコメントやアンケートなどで広く意見を集め、町の意味としての形につなげたい。

国のエネルギー政策に対する意見書より
（周防大島町議会平成23年6月定例会）

政府、国会、山口県に対し次のことを強く求めるものです。
2030年を目途とする新エネルギー政策を大幅に見直し、新たな原発建設を凍結し、循環再生エネルギー、自然エネルギーへ転換していくこと。



オンライン診療の進捗状況は？

病院事業管理者

一部体制はできましたが利用実績はありません。

問 令和5年3月に一般質問をした際には、少しずつだがオンライン診療が進んでいると答弁がありました。

その後のオンライン診療をはじめとしたデジタルを活用した医療サービスの進捗状況を伺います。

答 東和病院では、令和5年2月6日から、定期的に薬を処方されている方には、スマホなどのオンラインで診療から薬の受け取りができる体制をとっています。しかし、これまでのところ利用実績はありません。スマホなどの利用が不慣れであったり、現金以外での支払いができないことなどから、対面が選ばれていると考えます。デジタルの活用では、以前から町立病院でCTなどの画像の読影を外部機関に委託しており、ひと月あたり250件の実績があります。

オンライン診療は対面診療の不足を補うもの。ぜひ、オンライン診療を進めていただきたい。